

令和 7 年(2025年) 6 月

教育子育て委員協議会資料

子ども未来部 公立保育幼稚園課
学校教育部 教育指導課

案 件

・ 幼保小の架け橋プログラムについて

1. 政策等の背景・目的及び効果

これまで、就学前施設から小学校への就学について、幼児教育・保育と小学校教育の違いをうまく乗り越えることが難しく学校になじめなくなってしまうなど、いわゆる「小1プロブレム」が社会問題となっており、本市でも課題となっています。このような中、本市では、令和4年度（2022年度）から令和6年度（2024年度）までの3年間、文部科学省の採択を受け「幼保小の架け橋プログラム調査研究事業」に取り組み、この度当該事業の3年間の成果や課題及び今後の取り組み内容について報告するものです。

2. 内容

(1) 3年間（令和4～6年度）の取組みの概要

年度	校区	取組み
令和4年度	香里小学校区 (モデル校区)	・就学前施設の園児たちと小学生による交流活動や、職員による合同研修などを通して、モデル地区が「香里小学校区版架け橋コンパス(※)」を作成。
令和5年度	44全小学校区	・「香里小学校区版架け橋コンパス」を元に、全44小学校区において、子ども同士の交流や職員同士の交流を開始すると共に、各校区の実践や意見を踏まえ、全校区の基礎となる「枚方版架け橋コンパス」を作成。
令和6年度	44全小学校区	・「枚方版架け橋コンパス」をベースに、全44小学校区の特性に応じた「校区版架け橋コンパス」を作成。

※架け橋コンパスとは、めざす子ども像の目標にむけて、これからの子どもたちに必要な資質・能力を育成するために大切にしている5つの視点などごとに、5歳から小学校1年生までの2年間の育ちに必要な取り組みやねらいなどをまとめたカリキュラム表

(2) 成果と課題

3年間の取組みを行うことで、主体性が身についた児童が増えたことや、教職員の児童理解が進んだことなど、小学校架け橋事業担当職員の84.2%が教職員や児童に成果が出ていると回答しており、また、小学校入学期の行渋りが減少し、不登校児が減少した学校があるなど、多くの成果があった半面、校区における取組みに差があるなどの課題が生じています。

(3) 令和7年度以降の取組みについて

- 各校区が作成した「校区版架け橋コンパス」を活用し、交流活動等を充実させると共に、カリキュラムを見直し検証を図る。
- 幼保こ小連携をより広く市民にも周知し、架け橋期の取り組みの重要性を伝えていくことで、就学に向けての不安解消や、子どもに関わる全ての大人が子どもの理解を深めていく。

3. 実施時期

令和7年（2025年）4月 「校区版架け橋コンパス」に基づき交流活動等を開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

SDGs との関連



5. 関係法令・条例等

「教育基本法」「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」

6. 事業費・財源及びコスト

【令和7年度（2025年度）当初予算】

《事業費》 1,042千円（報酬・報償金等）

《財源》 教育支援体制整備事業費補助金 521千円 国 1/2

参考資料①

枚方版架け橋コンパス



学習活動の羅針盤の役割になってほしいと願い、架け橋期のカリキュラムを、「コンパス」と命名。

枚方市の目標 『夢と志を持ち、可能性に挑戦する枚方の子ども』

どんな活動を、どの時期に行っているのか
どんな子どもの姿を大切にしているか

子どもの育ちを示した
クローバーの視点
5C+1(チェリッシュ)

特に大切にしたいこと
(例)

特に大切にしたいこと
(例)

教職員間の連携、年間の見通し

～スタート期を大切に進められている～

校区オリジナルのコンパスを作成

～育ちの連続性がみえるコンパスになっている～

[illegible][illegible]

令和6年度 小学校の管理職を対象としたアンケートより

	R6	R5	R4
学習活動（授業）での交流活動	65.0%	46.7%	5.1%
就学前児童施設の保育を参観した。	80.0%	62.20%	—
就学前児童施設の職員が自校の授業を参観した。	47.5%	17.8%	—
地域の就学前児童施設と接続会議を行った。（オンライン含む）	32.5%	26.70%	23.10%
就学前児童施設の研修や研究会などに自校の職員が参加した。（オンライン含む）	22.5%	15.60%	0.00%
就学前児童施設の職員が自校の研究会等に参加した。（オンライン含む）	20.0%	11.10%	0.00%

樟葉西小校区の国語科『ねんどろん』



香里小校区の生活科『なつとなかよし』

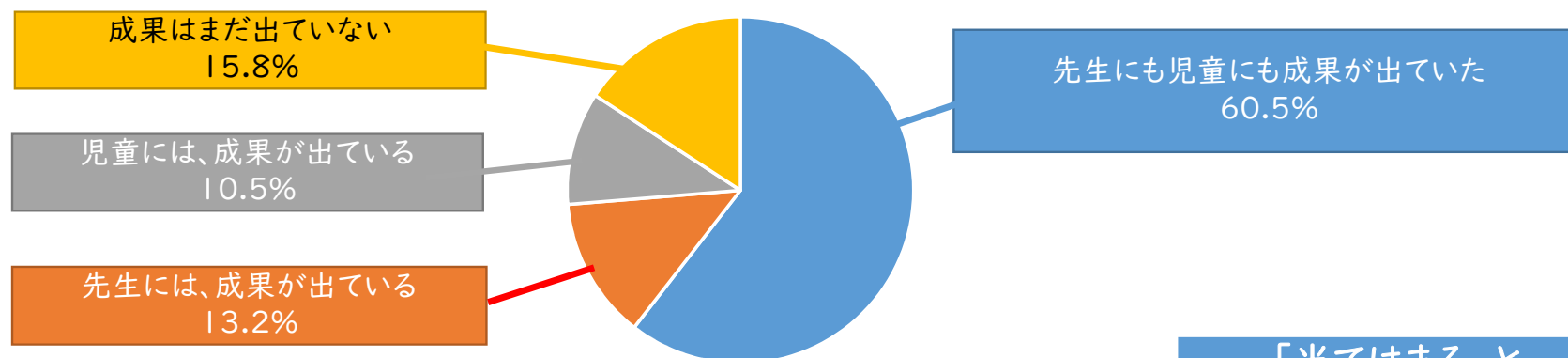


令和6年度 幼稚園、保育園、認定こども園の管理職を対象としたアンケートより

	R6	R5	R4
学習活動（授業）での交流活動。	50.0%	27.5%	—
小学校の授業を参観した。	46.9%	32.5%	—
自園（所）の保育を小学校の職員が参観した。	43.8%	22.5%	—
自園（所）の研修や研究会などに小学校の職員が参加した。 （オンライン含む）	21.9%	7.5%	3.6%

令和6年度 連携担当者連絡会にて実施したアンケートより（小学校担当者）

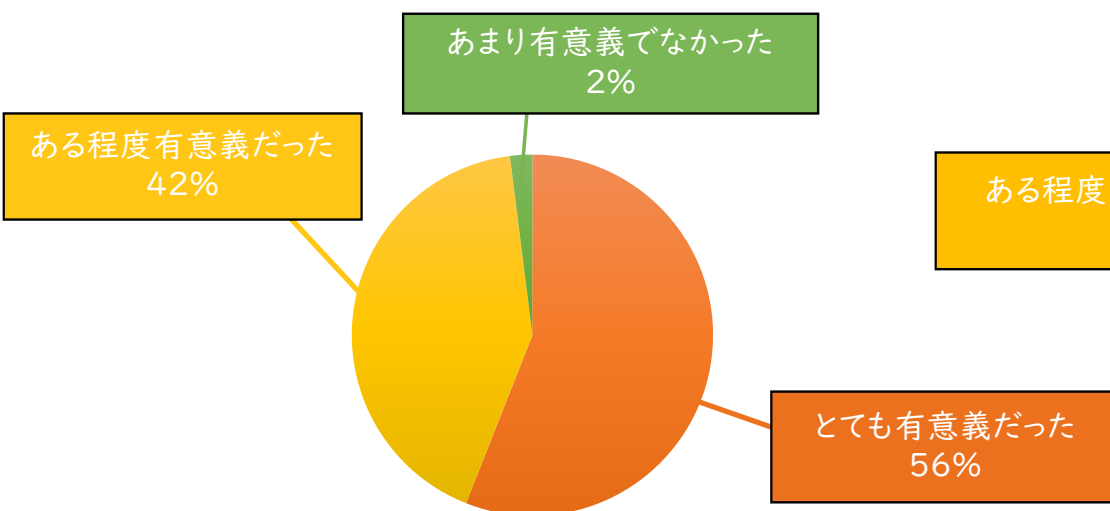
架け橋期の取組みの成果がどのように出ていますか？



	「当てはまる」と答えた割合
生活科をはじめとする低学年の授業づくりに改良が見られた	53.1%
児童が自己選択できる場面を増やした	46.9%
集団生活の見通しを持てるようになり、友だちと助け合う児童が増えた	34.4%
子どもの安心感が向上した	28.1%

令和6年度 連携担当者連絡会にて実施したアンケートより（就学前担当者）

今回の連絡会は有意義でしたか



就学前児童において架け橋コンパスや
アプローチカリキュラムの必要性をどのように感じていますか？

